

# みんながつながる 地域学校協働活動便り NO.13

青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ TEL017-734-9890

R.6. 7月 統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員 工藤知久子

## 令和6年度「地域学校協働活動研修」中南地区・下北地区開催

### 中南地区

日時：令和6年7月4日(木)  
 場所：弘前市中央公民館相馬館  
 長慶閣  
 参加者数：会場 39名  
 オンライン 16名  
 講師：(一社) S.PLACE  
 代表理事 井上 尚子氏



令和6年度地域学校協働活動研修は、中南地区を皮切りに、文部科学省CSマイスターの井上尚子氏を講師に開催されました。講義では、「あなたの関わる学校にはどんな魅力がありますか」をテーマに、なぜ地域と学校の連携・協働が必要なのか、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の役割、コーディネーターの役割、高校、特別支援学校におけるコミュニティ・スクールについて分かりやすく、紹介されました。

模擬熟議では、「より魅力的な学校づくりのために、あなたは仲間とどんなことがしたいですか」というテーマについて、どことつながることが大切かや、子どもたちと学校・地域ができることについてグループでまとめました。「ヒト・モノ・カネ 教育資源を増やす」「地元町会との連携強化」「働き方改革・がんばらないことをがんばる」等の意見が参加者から出ました。

下北地区では前日に引き続き、CSマイスターの井上氏が講師を務め、研修会が開催されました。会場には小・中・高校及び特別支援学校教員、学校運営協議会関係者、教育委員会職員が参加しました。

模擬熟議では、「下北の特色ある地場産業」「朝食のある学校」「若者へ発信するSNSの活用」等の意見が出され、「校種や立場が違う方々と話ができて有意義だった」などの感想がありました。

### 下北地区

日時：令和6年7月5日(金)  
 場所：むつ来さまい館  
 参加者数：会場 18名  
 オンライン 1名  
 講師：(一社) S.PLACE  
 代表理事 井上 尚子氏



東青地区  
 上北地区  
 西北地区  
 三八地区

## 令和6年度 地域と学校とのパートナーシップ強化事業 『地域学校協働活動研修』 開催案内



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進にむけて、県教育委員会及び市町村教育委員会職員、小・中学校及び県立学校教職員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、学校運営協議会委員等を対象に、文部科学省の施策や全国の先進的な事例紹介や熟議体験など、すぐに役立つ内容です。

東青・上北・西北・三八地区の参加お申し込みは、右上の二次元コードから、お申し込みいただけます。

※ お問い合わせ…青森県生涯学習課地域連携推進グループ (TEL017-734-9890) へご連絡ください。

日 時	地区	場 所	講 師
8/8(木) 13:20~16:20	東青	青森県総合社会教育センター	ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋宏之氏
8/9(金) //	上北	東北町コミュニティセンター 未来館	ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋宏之 氏
8/19(月) //	西北	つがる市生涯学習交流センター 松の館	ゆめ☆まなびネット 代表 大谷裕美子氏
9/3(火) //	三八	南部町総合保健福祉センター ゆとりあ	(一社) S.PLACE 代表理事 井上尚子氏

## 五所川原市教育委員会 地域学校協働活動推進員研修会

6月13日(木)五所川原市地域学校協働活動推進員研修会が、五所川原市中央公民館にて開催されました。始めに五所川原市教育委員会の担当者から、「地域学校協働活動推進員の役割と重要性について」の説明がありました。参加した6名の推進員の経験年数は1年から16年と幅広く、学校の活動場所も職員室や空き教室、地域コミュニティルームと様々ですが、各校の活動状況について発表し情報を共有しました。

ボランティア不足の話題については、小学校のボランティア活動をしている保護者を見て、こども自身も活動をしたいと申し出があるなど、高校生2名と大学生2名のボランティアが土日を中心に現在活動中であり、さらに、6年生の保護者には、お子さんの卒業前に地域ボランティアとして登録していただき、卒業後も同様に活動に協力してもらっているという事例がありました。

また、教員に前年度の活動内容を説明する機会を設け、ボランティアと学校との顔合わせ会を開催したり、ボランティア活動日を事務室ボードに記入してPRしたりするなど、推進員の活動の幅を広げる工夫の事例が紹介されました。

コミュニティ・スクール先行導入校の三輪小学校では、年3回学校運営協議会を開催しており、積極的な意見交換と情報共有をしながら、昨年度実施していた活動をブラッシュアップして今年度につなげているとのことでした。



## 鱒ヶ沢町教育委員会「学校運営協議会委員研修会」



6月24日(月)鱒ヶ沢町役場にて、文部科学省CSマイスター高野睦氏を講師にお招きし、学校運営協議会のさらなる機能の充実を図ることを目的とした「学校運営協議会委員研修会」が開催されました。阿彦正弘鱒ヶ沢町教育長をはじめ、小・中学校長、教育委員会職員、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員など関係者26名が出席しました。「地域とともにある学校づくりと学校運営協議会の役割」「熟議の効果的な進め方を体験しよう」をテーマに、文部科学省のCSポートフォリオの記入から始まり、コミュニティ・スクールの制度の意義やメリット、地域学校協働活動との一体的推進の重要なツールである「熟議」を体験しました。熟議は、参加した様々な立場の人が、役割や情報を確認し、目標のために自分ができることを考え、実現に向けて協働していくために必要な合意形成の手法です。参加者はグループに分かれ、それぞれの立場から意見を出し合い、学校と地域が信頼関係を築き、こどもたちの未来と町の発展につながるためにできることを発表しました。



※ 鱒ヶ沢町のコミュニティ・スクールは、令和2年度から導入し、「郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し創造力豊かで新しい時代を切り拓く人づくり」を目指しています。また、鱒ヶ沢町学校運営協議会は小学校2校、中学校1校で、学校同士や地域との連携を密に行うことから、3つの学校を1つの学校(学園)として捉え、そこに学校運営協議会をおいています。今年度の学校運営協議会委員には、社会教育委員長、PTA会長、高校教諭、地域学校協働活動推進員、民生委員協議会会長、町内会連合会代表など14名が委嘱されています。

## 地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会(東青地区)

7月16日(火)に県総合社会教育センターで当課が主催した「地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会」には、青森市内の企業や大学関係者、教育支援プラットフォーム実行委員など19名が参加しました。講師に特定非営利活動法人代表理事 伊勢みゆき氏をお招きして「地域全体で築く子どもの未来～地域学校協働活動の推進～」をテーマに講義していただきました。

講義は、最初に「10年後の青森県の子どもの姿」をテーマに、グループ内で意見交換して参加者の課題意識を高めた後、こどもや学校を取り巻く課題と、これからのこどもたちが必要となる資質・能力・学びや、地域全体でこどもを育てる仕組みづくり、宮城県内の企業の実践事例の紹介など盛りだくさんの内容でした。

その後の事例紹介では、株式会社沖館薬局代表取締役社長の岡島裕史氏が会社の方針や薬剤師の資格等についてお話くださいました。なお、この事業は、7月17日(水)十和田東コミュニティセンター(上北地区)でも開催されました。

※ 第2弾として「学校と地域のネットワークづくり」を、9/26青森県総合社会教育センター、9/27十和田東コミュニティセンターで開催します。教職員、推進員など学校関係者も対象になります。互いに交流を深めながら、地域学校協働活動推進のため、皆さまのご参加をお待ちしております。

